



はばたけ! 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

2学期はパワーアップのチャンス! ～一人一人の成長を学級・学校の力に!～

新学期が始まって2週間が経ちました。夏休みの生活リズムから、学校生活へのリズムに切り替え、有年っ子たちは学習に、生活に意欲的に取り組んでいます。どの学年も学期はじめに「2学期のめあて」について話し合い、それぞれのめあてを教室に掲示しています。『実りの秋』と言われる季節をまもなく迎えます。有年っ子たちにとっても、様々な場面で自分の力を発揮し、成長できる季節でもあります。一人一人の成長を学級・学校の力につなげ、有年小学校をみんなで盛り上げてくれることを期待しています。



また、この2学期は、教師にとって「学級づくりの見直し」のチャンスでもあります。有年小学校の先生方は、次のことを意識して2学期の学級経営に取り組んでいます。

- ①学級目標の見直し：目標自体を変えるのではなく、あらゆる機会をとらえて目標が達成できたかを見童と共にふり返る。
- ②学級活動の見直し：係活動や学級会など、マンネリ化しないよう、学級が楽しくなるように試行錯誤する時間をもつ。
- ③学習規律の見直し：あいさつ、返事、姿勢、話の聞き方など、教師がモデルを示していくことで、学習効果をあげていく。
- ④生活指導の見直し：学校生活のルールを再確認し、守れている見童を褒めたり、人間関係が固定化しないように学習や遊びの形態を工夫する。
- ⑤教室環境の見直し：机の中やサイド、棚の中を整理し、見童が落ち着いて過ごすことができる環境を整えるようにする。また、学習過程や成果がわかるように、動きのある掲示の工夫する

有年っ子のパワーアップに負けないよう、教師も意欲的に学級経営に取り組みます。

9月1日は『防災の日』～避難訓練実施!～

9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に関東大震災が起こったことに由来しています。そして、今年、関東大震災から100年目にあたります。

2学期の始業式だったこの日、避難訓練を実施しました。始業式では、「防災の日」の話をしたのですが、避難訓練をすることは子ども達には予告していませんでした。

突然の訓練警報。子ども達は落ち着いて避難経路を確認しながら避難することができました。日頃からの備えが大切であることを改めて確認することができました。



第2回学校運営協議会報告 ～有年っ子のためにできること～

9月8日（金）に、第2回学校運営協議会を開催いたしました。1学期の教育活動の報告と小規模校のメリットを生かした取組等について報告させていただきました。

（*「ふるさと有年学習」の各学年の様子を本校ホームページに掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。）

報告の後、学校運営協議会では初の試みとなる「ワークショップ」を行いました。「ワークショップ」とは、参加者が主体となる体験型講座（セミナー）のことです。話を聞くだけではなく、テーマに対して主体的に考えて行動するので、当事者意識が得られやすいとされています。今回の「ワークショップ」のテーマは、

『ふるさとの未来を拓く有年っ子の育成のためにできること』でした。有年っ子の現状と期待する姿を付箋に書き出し、学校・家庭・地域が何ができるのかについて意見交流しました。



★意見交流の中での意見「期待する有年っ子の姿」

- もっと外遊びをする ○はずかしがらずに表現する ○自分で考えて行動する
- 協調性 ○一言で終わらず会話を続けられる ○人に聞く力のある
- 積極性 ○何事にも興味をもつことができる ○自然に親しむ
- 走るのが速い ○ピアノが弾ける ○ルールやマナーを守る など

★「ふるさとの未来を拓く有年っ子」の育成のためにできること

- 児童の安全確保 ○有年の歴史やいいところを伝える ○公園の整備
- 農業の話 ○遊び場の確保 ○地域とのかかわりをより深める
- 地域から大きな声であいさつ ○スポーツの魅力を伝える など

教職員が描く「めざす児童像」と地域の方が願う「期待する姿」には共通する部分がたくさんあります。いただいたご意見を今後の教育活動に生かして、地域とともにある魅力ある有年小学校をめざしていききたいと思います。